

一石三鳥「作って使える住宅模型」の製作マニュアル

I. 材料費

1. デコタック (片面のり付き) 900×600×5	1枚	1420円
2. ホワイトカプセ 1000×2.7	【雨樋】 3本×60円	180円
3. スチレンのり	1本	200円
4. パテ	1本	340円
5. 水性塗料スプレー缶	【4色】 4本×460円	1840円
6. Fax 紙芯	【煙突】	再利用

材料費4棟分の合計は3980円、つまり1棟あたり約1000円で作れます。

(*上記はいわき市内DIY店での価格でした。参考にしてください。)

II. 道具と説明

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1. ハサミ中サイズ以上 | 【コピーした型紙から各パーツを早く正確に切り取る】 |
| 2. カッター | 【一度で切ろうとすると危険、必ず数回でカットする】 |
| 3. 替え刃 | 【刃が短くなったり、切れ味が悪くなったら直ぐに対応】 |
| 4. カッティングマット A3程度 | 【デコタックを切るときは机の上に敷くのが常識です】 |
| 5. ステンレス定規 30cm | 【デコタックの切断ラインに当てて垂直にカットする】 |
| 6. えんぴつ・消しゴム | 【デコタック残材の厚みを活用し正確に付しろ幅を印す】 |
| 7. マイナドライバース中サイズ | 【付しろの皮一枚を残してスチレンを取り除くのに便利】 |
| 8. 薄刃のこぎり | 【切り台の上で雨樋・煙突を必要な長さ・角度に切断する】 |
| 9. ステンへら | 【接合部隙間のパテ止め時、余分なパテを全て除去する】 |
| 10. 柄付金属ヤスリ | 【隙間のパテ止めや塗装後の盛り上がり部を綺麗に削る】 |
| 11. 板 450×100×12mm程度 | 【雨樋や煙突を所定の長さに切るときの角度表示の切り台】 |
| 12. マスク、ゴーグル、ゴム手袋 | 【塗装時の臭いや着色が心配・苦手の方にはお勧めします】 |

注意事項： 各材料や道具を購入時、それぞれには説明書がありますので内容をよく読んでから製作を開始してください。既に所持しているが説明書を失くした場合
は販売店で同等品の説明書を見るか、店員さんに聞いてください。

III. 住宅模型の型紙

当HPから自由にダウンロードし、必要枚数をコピーしてください。

IV. 住宅模型の製作手順

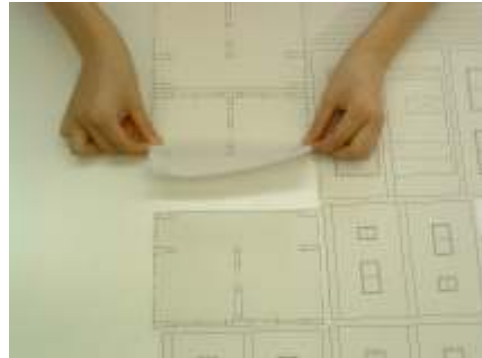
住宅模型の製作説明書の手順にしたがって、最初の1棟目はじっくりと進めてください。

V. 住宅模型の応用編

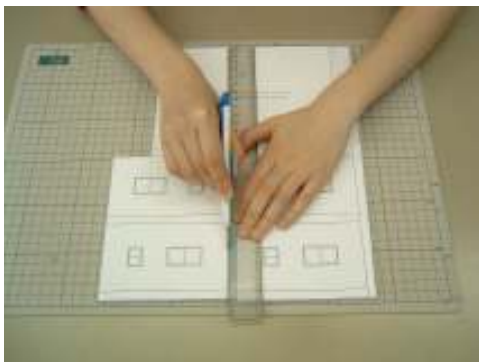
- ・住宅様式： 北欧・北米・アジア・カントリー・ログハウス・ファームハウス・古民家風
- ・屋根形状： 切妻・入母屋・片流れ・マンサード・ドーム・陸・バタフライ、急勾配・緩勾配
- ・内外形状： 複数階・ベランダ・開口部サイズ・開口部形状・サンルーム・玄関ポーチ・天窗
- ・屋根壁材： 左官材・厚紙・薄板・木皮・小石・貝・植物・タイル・金属薄板・割箸・楊枝
- ・内装材料： 左官材・布・色紙・軟質プラスチック板・スーパーのトレイ・牛乳パック・CD
- ・フィギュア： 人・動物・犬小屋・自動車・バイク・自転車・リヤカー・郵便受け・家電・家具
門・アプローチ・庭・駐車場・池・噴水・ウッドデッキ・ブランコ・すべり台
物干し・温室・植栽・フェンス・井戸・鯉のぼり・電柱・太陽光発電・風力発電



- ① ダウンロードした型紙を4棟分コピーシカット、デコタック(900×600)に配置すると丁度パネル全面が無駄なく埋まります。Good !



- ② デコタック(片面のり付き)の接着面に4棟分の型紙を貼り付けます。㊦3つの禁止：空気を入れない。シワにしない。2度貼りしない。



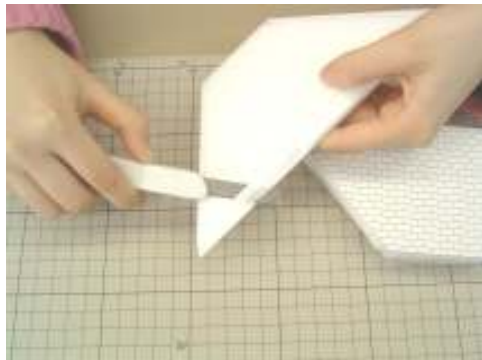
- ③ 各パネルの外周線はカッターを使い、少し力を弱め数回刃を当てて無理なく切断します。
㊦力を入れて一回で切ると刃が折れる危険性！



- ④ 外周をカットした4棟分の各基本パーツです。これからは屋根部と壁・床部の2ブロックに分けて作業をすると能率がとても上がります。



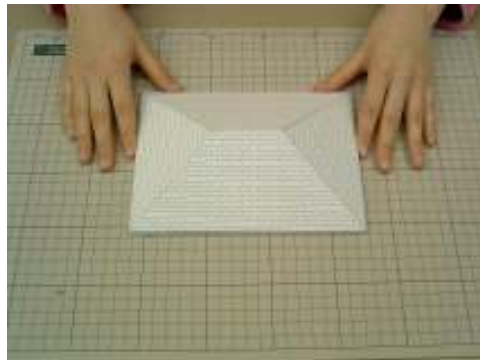
- ⑤ 天井パネルの中央部に棟札パネルを垂直に接着します。㊦このパネルには屋根パネルを掛ける為、予め上部は面取りをしておきます。



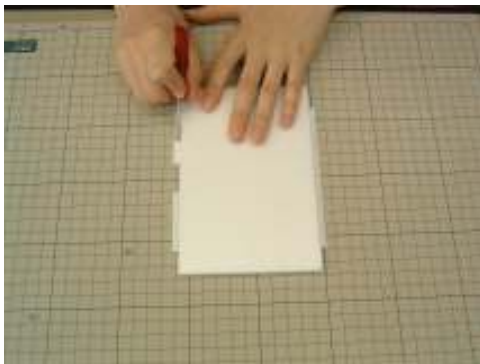
- ⑥ 屋根パネル全周部には接合を考慮し斜面加工をします。天井パネルとの接合部は端から10mm、屋根パネル同士部は端から3mmの幅です。



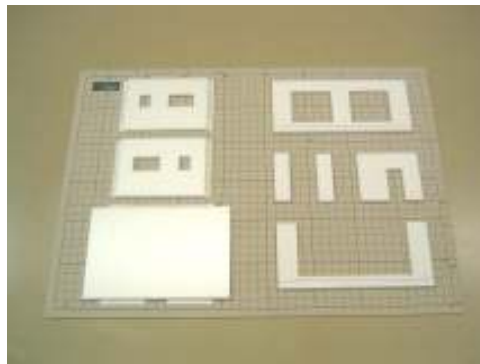
⑦ 棟札を接着した天井パネルと斜面加工を終えた4枚の屋根パネル。⑤接合面にスチレンのりを付ける前に必ず仮接合をして総点検！



⑧ 仮接合をして斜面加工の調整が終わり、接合部の隙間が殆ど無くなったなら接合面にスチレンのりを塗ってパネル6枚を接合します。



⑨ 屋根部が終わり、今度は床と壁パネルの付しろの加工です。接合部の切断面を隠すため、皮1枚を残し、スチレン材を取り除きます。



⑩ 全ての床と壁パネルの加工が出来たらここでも仮接合をして接合部の隙間を点検します。⑤特に付しろの加工が雑にならない様に！



⑪ 床パネルを基準とし4面の壁パネルにスチレンのりを塗りながら接合します。次に間仕切り壁の接合部をスチレンのりで接合します。



⑫ これで床と壁パネル部の接合が決まりました。応用編として、ベランダ付きの床パネルでの床・壁ブロックを使うことで複数階も可能！



- ⑬ 屋根パネル周囲に取り付ける雨樋加工です。長さや角度を印した専用台を準備しておくことでU字型プラスチック材の正確な切断が可能！



- ⑭ 煙突はFax芯を使用、1本で3つ取れます。ペン立てに使うので長さは70mm程度にカットすると丁度使いやすい高さになります。



- ⑮ 屋根パネルの隙間はパテ止めをして水性塗料をスプレーし、ヤスリで研磨します。これを何度か繰り返すことで綺麗に光沢が出ます。



- ⑯ 床・壁パネルも同様に隙間はパテ止めをして水性塗料をスプレーし、ヤスリで研磨します。室内部は柄付きヤスリを使うと良いでしょう。



- ⑰ 平屋建てで仕上がり利用面と正面です。「床・壁パネルブロック」と「屋根ブロック」とを接合すると完成です。お疲れ様でした！



- ⑱ 平屋建てと2階建ての仕上がり正面です。ベランダ付きの「床・壁パネルブロック」を重ねることで複数階にも対応出来ます。